



小暑を過ぎ、夏本番を迎えました。7月の豪雨により被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。今年の盛夏は東・西日本を中心に猛暑と予想され、暑さ対策に加え、新型コロナ感染対策も引き続き必要とされています。夏用マスク、ハンディファンなど新しい冷感グッズも登場しているようです。2020年の夏を皆様と一緒に乗り切りましょう！本号も最後までご覧いただければ幸いです。



## COVID-19とリウマチ治療について

現時点では、リウマチ患者さんがコロナに感染しやすい、重症化しやすいという情報はありません。

### ●感染が疑われない時

現在処方されている薬(ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤、抗リウマチ薬など)は症状が悪化しないよう同じ用量で続けてください。自己判断での中止は禁物です。

### ●感染を疑う症状が出た時

感染症の症状がある場合は重症になる可能性もありますので、主治医の先生に相談して投薬についての指示を仰いでください。自己判断は禁物です。原則として、ステロイドはそのまま継続し、メトトレキサート(MTX)や生物学的製剤、免疫抑制剤は投薬の減量や一時的な延期を検討する必要があります。

出典：日本リウマチ学会HP

## 看護部より

### 看護部長よりご挨拶



看護部長 松本淳子

こんにちは、「メイフラワー通信7月号」を手にとっていただきありがとうございます。令和2年4月1日より看護部長を拝命いたしました松本淳子と申します。

昨年からのCOVID-19禍は、6月に一旦は外出自粛が解除されましたが、7月に入り再び感染者数が増大しております。感染防止に加え、コロナと共存する新たな生活様式の実践は不自由さもありますが、もうしばらくは皆で気を緩めず過ごしていかなければなりません。

さて、松原メイフラワー病院は、リウマチ性疾患を専門とする病院として開院21年目を迎えます。この20年間の関節リウマチの治療は大きな進歩を遂げ、「寛解」を得られるようになってきました。患者様の人生に長期にわたって係わらせて頂く看護部では、専門性の高い看護師の育成にも取り組んでいます。現在6名の「リウマチケア看護師」がリーダーとなって、治療を受ける患者様ひとり一人の思いや暮らしに寄り添った看護を目指しています。また、当院の入院患者様は、9割の方が住み慣れたお家へ退院されています。個々の暮らしと治療の継続が途切れることのない看護を提供できるよう、外来看護の充実や病棟看護師と地域の方々との連携を深めて参りたいと考えています。

今年度は、「安全・安心・安楽な療養環境を整え、親切丁寧な看護」をモットーに、心を一つにして職員一丸となって取り組んでおりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 【看護部理念】

専門病院としての専門性、特殊性を発揮し安心安全な看護を実践します。

外来担当表は裏面に記載しています

# 外来担当表

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~ 12:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテーショ ン科	松原	奥田	松原	松原	奥田	
		福田		福田	篠原		
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	塩沢	亀崎	伊丹 亀崎	塩沢	亀崎	
午後 (15:00~ 18:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテーショ ン科	奥田	福田	前田		奥田	
		富永 (手・足の 外科)	奥田 (痛み外来) ※完全予約制				
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	塩沢 15:00~17:00	亀崎	担当医		亀崎	
午前 午後	内視鏡検査		関本 関本				

\* 初診の方は、出来るだけ受付終了30分前までにご来院ください。

## Zoomでリウマチケアサロンを開催しました



昨年よりおよそ2か月に1回、院内にてリウマチケアサロンを開催しておりましたが、COVID-19感染拡大に伴い、6月からはweb会議システムを用いて2回オンラインサロンを開催しました。事前申し込みをいただいた患者さまと当院の職員がZoomでつながり、COVID-19下でのリウマチとの付き合い方や、簡単なリラクセス法を体験していただきました。皆様と直接お会いしてお話したい気持ちは山々ですが、コロナ禍における患者様とのつながり方を引き続き考えていきたいと思っております。

## 地域連携室より



令和2年7月豪雨により被害を受けられた方々、並びにCOVID-19に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、快復を心よりお祈り申し上げます。心が痛むニュースが続く7月となりましたが、セミの声も聞こえてきて季節的にはようやく夏を迎えようとしています。

さて、夏といえば熱中症や脱水症のニュースが毎年のように取り上げられています。今年の8月は特別に猛暑ということでも無いようですが、外出時にマスクを着用する機会が増えると思います。マスク着用時には熱が体内にこもりやすくなりますので水分補給をこまめにするなど注意して下さい。

また、例年に比べて今年は屋内で過ごす時間が増える方も多いかと思いますが、屋内で過ごしていても熱中症や脱水症にかかる方は毎年大勢いらっしゃいます。感染症対策として、窓を開けて換気をする事は良いことですが、室温や体調にも注意するように気をつけましょう。ちなみに、10分くらいの換気であればエアコンをつけっ放しにしておくほうが経済的だそうです。

7月下旬よりCovid-19の感染が拡大しています。人に感染させないようにマスクを着用し、感染しないように手洗い・消毒をこまめにする事が、安心できる暮らしに繋がると思います。皆さん、共に乗り越えていきましょう。

## 編集後記

beforeコロナ、withコロナ、after/postコロナと中学英語の前置詞学習のように日々耳に入ります。夏には一息つくと思われたコロナ禍は、生憎梅雨から夏にかけても私たちから離れようとはしないようです。コロナによって、“stay home”もフレーズとして定着した感がありますが、せめて、いくつになっても気持ちや姿勢は“stay hungry!”“stay foolish!”でいたいと思います。そうですね、S.ジョブズさん！(K.K)



2020年7月発行 発行元：松原メイフラワー病院 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944番地25

TEL：0795-42-8851 (代) FAX：0795-42-8857

E-mail ▶ info@mayflower-hp.jp

HP ▶ http://www.mayflower-hp.jp/

